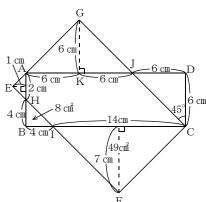
1	(1)	1750	(2)	74.0	(3)	$5\frac{7}{72}$
	(4)	173	(5)	26	(6)	82
	(7)	40	(8)	684 (km)	(9)	318 (ha)
	(10)	$\begin{array}{c c} \begin{array}{c c} \hline \\ 10 \\ (\text{He} \) \end{array} \begin{array}{c} \textcircled{2} \\ 29 \\ (\text{He} \) \end{array} \begin{array}{c} \textcircled{3} \\ 2 \\ (\text{He} \) \end{array}$	(10);	完答		
2	(1)	1	(2)	165	(3)	31
3	(1)	8	(2)	2310	(3)	6 通り
4	(1)	2 倍	(2)	108 $_{\rm cnl}$	(3)	168 $_{\rm cn}$
5	(1)	480	(2)	20 か月目	(3)	20
6	(1)	2	(2)	2,6,10	(3)	3 - 9 - 1

(2), (3); 各完答

- $1(3) \quad 9\frac{7}{12} + 3\frac{1}{8} (2\frac{5}{6} + 4\frac{7}{9})$ $= 12\frac{17}{24} 7\frac{11}{18} = 5\frac{7}{72}$
 - (4) $3.92 \times 55 51.12 \div 1.2 = 215.6 42.6 = 173$
 - (5) $392 \div 4 \{(25 \div 0.2 + 23 \times 4) \div 7 52 \div 4\} \times 4$ = $98 - \{(125 + 92) \div 7 - 13\} \times 4$ = $98 - (217 \div 7 - 13) \times 4$ = 98 - 72 = 26

 - (7) $717 \div 17 + \underline{496 \div 34} \underline{1425 \div 85}$ = $717 \div 17 + \underline{248 \div 17} - \underline{285 \div 17}$ = $(717 + 248 - 285) \div 17 = 680 \div 17 = 40$
 - (8) $8400000 \,\mathrm{m} \div 12 6400 \,\mathrm{cm} \times 250$ = $8400 \,\mathrm{km} \div 12 - 0.064 \,\mathrm{km} \times 250 = 700 \,\mathrm{km} - 16 \,\mathrm{km} = \underline{684} \,\mathrm{km}$
 - (9) $480 \text{ a} \times 35 + 2400000 \text{ m}^2 \div 1.6$ = $4.8 \text{ha} \times 35 + 240 \text{ha} \div 1.6 = 168 \text{ha} + 150 \text{ha} = 318 \text{ha}$
 - (10) 2 時間24分47秒×3+3 時間14分41秒 = 9 時間86分182秒=10時間29分2秒
- ②(1) 1+2+3+4+5+6+7+8+5=41(番目) $41\div 5=8$ (セット)余り 1 (個) \rightarrow 1
 - (2) 1+2+3+4+5+6+7+8+9+10=55(個) $55\div 5=11$ (セット) $(1+2+3+4+5)\times 11=165$
 - (3) 1+2+3+4+5+6+7+8+9+10+1=56(番目) $56\div 5=11(セット)$ 余り $1\to 11$ 段目のはじめの数は 1 11段目は11個の数がならんでいるので, $11\div 5=2(セット)$ 余り 1(個) よって, $(1+2+3+4+5)\times 2+1=31$
- ③(1) 2 と 4 の最小公倍数が 4 となるので、これにも 5 1 つを組み合わせて考える。調べると、4 2 8 の最小公倍数が 8。
 - (2) 大きい数3つを考える。2数どうしが互いに素になるときが一番よい。これを満たすのが、13、14、15で、これが最大(最小公倍数は2730)。次は11、14、15のとき。よって二番目は、11、14、15の最小公倍数である2310。
 - (3) $132=2\times2\times3\times11$ より、3つの数のうち11は決まる。 残りの2個の最小公倍数が、 $2\times2\times3=12$ になればよい。 組み合わせは(2,12)(3,12)(4,12)(6,12)(3,4) (4,6)の6通り。

4(1) GからADに垂線を引き、 交点をKとする。 三角形AKGと三角形GK Jと三角形CDJは合同。 よって、AK=KJ=GK =CD=JD。 これより、AJの長さはJ Dの長さの26。



- (2) 右の図のように、わかる数 F 値をかき入れる。 $(14+4)\div 3=6$ (cm) ··· J D=C D $(14+4)\times 6=108$ (cm) ··· 長方形ABCD
- (3) 6-4=2 (cm) ··· A H
 三角形AEHの底辺をAHとすると高さは、
 2÷2=1 (cm) になる。
 108-6×6÷2-8=82 (cm) ··· 五角形AHICJ
 82+49+12×6÷2+2×1÷2=168 (cm) ··· 長方形EFCG
- ⑤(1) $(50400-21600) \div 24=1200$ (円) … 兄 + 弟 $1200 \div (1+1.5)=480$ (円) … 弟 $480 \times 1.5=720$ (円) … 兄
 - (2) 毎月240円ずつ値下がりしていくと、貯金額とおもちゃの金額の差が、1200+240=1440(円)ずつ減っていく。 (50400-21600)÷1440=20(か月目)
 - (3) 50400-50×20-21600=27800(円)…20か月間の貯金額 兄が予定通りに貯金するとき,20か月間での貯金額は兄弟 あわせて,1200×20=24000(円)となり,3800円足りない。 実際に兄が貯金する額は,2か月目は(+□)円,3か月目 は(+□×2)円,4か月目は(+□×3)円,…20か月目は (+□×19)円となり,合計は(□+□×19)×19÷2 =□×190=3800(円)よって,□=20(円)
- ⑤(1) Aの点数が5点なので、Aの得点は、1+2+2の形。 よって、Aは3回とも勝ちとなり、Bは少なくとも1回は 負けている。Bの点数は4点なので、Bは2勝1敗で、そ の2勝はどちらも2点を取っている。
 - (2) Aの取ったカードの合計は31なので、8+11+12か、9+10+12の形。また、Bの取ったカードの合計は18で、Bの勝ち方から偶数が2枚以上あり、12はAが取るので、2+6+10か、4+6+8。
 Aが(9,10,12)のとき、Bは(4,6,8)。しかしこのとき、Aは10と12で2点ずつ取るので、Aが12を出すときにBが6を出して負ける。すると、Bには4と8が残り、この2枚では2勝で2点ずつ取ることはできない。(Bが8で勝つときに相手が4でなければならない。)よって、Aは(8,11,12)で、Bは(2,6,10)。
 - (3) 残るカードは1,3,4,5,7,9。合計16は,3+4 +9か,4+5+7。よって,4はDが取っていて,そのときのAは8,1はCが取っていて,そのときのBは2となる。ここまでをまとめ 1回目(12)A-B(6)(エ)C-D(ウ) 3回目(11)A-C(オ)(ア)B-D(イ) 3回目(8)A-D(4)(2)B-C(1) は5とわかる。よって,Dは(4,5,7)で,ウは7。Cは0点で,0勝。Cは(1,3,9)なので,エは3。オは9となり,Cは、 $3 \rightarrow 9 \rightarrow 1$ の順に取っている。

(配点) 各4点×25